

## 【ヒヤリ事例】

事例  
1

ベッドに設置している徘徊感知機器の電源を切ったままだということを徘徊している高齢者を見つけてから気づいた。

事例  
2

ベッドへ上がろうとした際、設置していたセンサーマットのわずかな段差につまずき転倒しそうになる。

事例  
3

日常の動線から片側の引き戸の下に設置したセンサーマットだったが、夜間に普段と反対側の戸から出たため感知できなかった。

## 【再発を防止するには…】

- ・スイッチのON/OFFの注意を促す張り紙を張る
- ・介助する際にスイッチを切らずにできる方法はないか考える

- ・マットの段差を少なくした設置方法をとる
- ・センサーマットではないタイプの徘徊感知機器を使用する
- ・一定期間ごとに歩行状態の変化を確認する

- ・センサーマットではないタイプの徘徊感知器を使用する
- ・マットの大きさを大きくする
- ・片側の戸を開閉できないようにしておく

ヒヤリハットや事故が起こる背景には、「利用者による要因」「介助者による要因」「環境による要因」があり、必ずしも福祉用具が原因で起こるものではありません。要因を見直し、正しく福祉用具を使用し、大きな事故やけがの防止になればと思います。



### ～おすすめ商品のご案内～



テクノスジャパン

## 家族ヨール3 Aタイプ

レンタル可能



- 一人歩きが心配な方へおすすめ
- 床に足を置くと、メロディチャイムでお知らせ
- 電波の通達距離は安心の100m

TAISコード:00318-000146 品番:HK-3A

その他さまざまな徘徊感知機器がございますので、お客さまの環境に合わせてお選びください。

事業所No:4372300915

有限会社ひまわり  
TEL0964-32-2213

宇城店：熊本県宇城市松橋町東松崎602  
大津店：熊本県菊池郡大津町中島99-1  
<https://himawari-kumamon.com/>